

日本語112キーボード取扱説明書

SKB-112SLUSB



対応機種

各社DOS/Vパソコン
(ただし、USBポートを持ち、パソコン本体メーカーがUSBポートの動作を保証している機種)

対応OS

WindowsXP・2000・Me・98SE・98
Windows98ではACPIキーをサポートしていません。(WindowsXP・2000・Me・98SEがサポート)

最初に
ご確認ください。

セット
内容

日本語USBキーボード	1台
取扱説明書兼保証書(本書)	1部

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、
お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

2001.10

はじめに

このたびは、日本語USBキーボード「SKB-112SLUSB」をお買いあげいただき誠にありがとうございます。
本製品は、USB仕様Ver.1.1、USB HIDクラスVer.1.1に準拠したキーボードです。
また、本製品は、背面にPS/2スタンダードマウスポートを装備していますので、PS/2スタンダードマウスを接続することが出来ます。

本製品をご使用になる前に必ずこのマニュアルをよくお読みください。

本書の内容を許可なく転載することは禁じられています。
本書の内容についてのご質問やお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。
本書の内容については予告なしに変更することがございます。
本書に記載しているソフトウェアの画面やアイコンなどは実際のものと異なることがあります。

⚠️ 取り扱い上のご注意

本製品は電気で作動しておりますので、発火する危険があります。万一煙が出たり変なにおいがしたりした場合は、本製品及び接続しているコンピュータや機器の電源を切り、お買い上げの販売店又は、弊社までご連絡ください。
雷がなっている時に、本製品やケーブルに触れないでください。
落雷により感電する恐れがあります。
本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。
故障や感電の原因となることがあります。
濡れた手で本製品やケーブルに触らないでください。
本製品がパソコンに接続されている時には、感電する恐れがあります。
本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。
感電や火災、故障の原因となることがあります。
本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。
故障・破損などの原因となることがあります。
本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、ほこりや湯煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり、保管したりしないでください。
故障・感電などの原因となることがあります。
本製品を重ねて設置したり、本製品の上に重いものを置いたりしないでください。
火災や故障の原因となることがあります。
本製品は不安定な場所に設置したり、保管したりしないでください。
落下により故障・破損の原因となることがあります。
本製品や他の機器のケーブルを抜き差しする時には、必ずコネクタ部分を持ち無理な力を加えないでください。
故障・破損などの原因となることがあります。
本製品のケーブルや接続する機器のケーブルは、家具で踏んだり、扉ではさんだりしないでください。またこれらのケーブルを引っ張ったり折り曲げたりしないでください。
火災や故障の原因となることがあります。
本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。
定期的にバックアップを取るなどの対策をあらかじめ行ってください。
本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
塗装を痛めたり、故障の原因になることがあります。乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
本製品は日本国内用に作られております。日本国外の規格等には準拠しておりません。

快適な使用方法

手首はまっすぐにのばし、指は少し曲げた状態にする。

手はキーボード上で肘に対して少なくとも90°になるようにする。

肩に力を入れたり、肩をすくめたりせず、余分な力を入れない。

15分間タイプする度に、1～2分休憩をとってください。

腕や肘を休めるため、手置き台(ハンドレスト)や肘付椅子の併用をしてください。

画面を見るときは、心持ち目線が下がるように椅子の高さを調節してください。

窓より少なくとも2mは離れて、自然光の入ってくる場所で、画面のコントラストを調節してください。画面にはCRTフィルタを装着することをお奨めします。

キーボード底面には、キーボードの角度(高さ)が調節できるようにツメが2カ所についています。お好みによって入力しやすい角度を選んでください。

注意 スタンドを立てるときには、必ず両方のスタンドを立ててください。スタンドは完全に立てるか、全く立てないかのどちらかにしてください。中途半端な状態では使用しないでください。

特長

USB仕様Ver1.1に準拠した日本語112(106キー+Windowsキー+アプリケーションキー+ACPI(スリープ・ウェイクアップ・パワーオフ))キーボード。

☼ ウェイクアップ:サスペンド(スリープ)モードから復帰します。

① スリープ:パソコンがサスペンド(スリープ)モードになります。

🔌 パワーオフ:Windowsを終了してパソコンの電源を切ります。

パソコン、BIOSがACPIに完全対応している機種でのみ動作します。

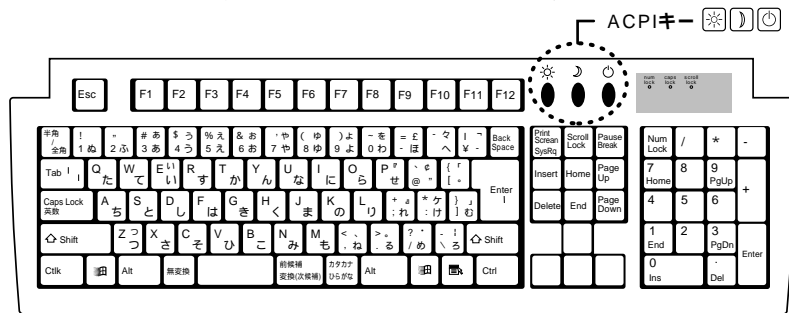
メンテナンスをしやすいイーザーアクセスキートップ採用。

キートップの取り外しが容易に行えますので、メンテナンスも簡単です。

キートップを取り外してメンテナンスを行うときには、パソコンからキーボードのケーブルを抜き、キーボードの内部にゴミや埃・水分などが入らないよう、じゅうぶん注意して行ってください。

キーボードの角度調節(2段階)用スタンド付。

キーボードの底面には、キーボードの角度(高さ)が調節できるようにチルトスタンド(ツメ)が2カ所についています。お好みによって入力しやすいように、どちらかのポジションを選んでください。



注意 パソコンの機種・BIOSによっては、Windowsが起動する前のコマンド(BIOSの設定・SCSIボードの設定など)はできません。パソコンの機種・BIOSによっては、このキーボードを初めて使用する際、起動前にPS/2マウスかPS/2キーボードをパソコン本体に接続しておく必要があります。

パソコンの機種・BIOSによっては、サスペンドモード(スリープモード・スタンバイモード)後にUSBキーボードを認識しない場合があります。このときは、接続しているUSBキーボードをいったん引き抜いてからもう一度接続し直してください。

パソコンの機種・BIOSによっては、ACPIキー(スリープ・ウェイクアップ・パワーオフ)の一部または全部が機能しない場合があります。

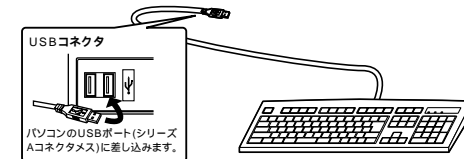
Windows98ではACPIキーをサポートしていません。(WindowsXP・2000・Me・98SEがサポート)

ノートパソコンや各メーカー純正キーボードのファンクションキーにあらかじめ割り付けられている特殊機能(画面の明度調整やボリュームのアップダウンなど)は、このキーボードからは操作できません。

キーボードのセットアップ

キーボードの接続(インストール)

- 1 パソコンのUSBポートを、確認してください。(多くのパソコンではUSBのアイコンがついています。)
- 2 パソコンの電源が入っている状態(Windowsが完全に起動した後)で、パソコンのUSBポートにキーボードのUSBコネクタを接続します。



注意

初めて接続する時にパソコンの機種・BIOSによっては、Windowsが起動する前にはUSB機器を認識しない場合があります。

そのため、本製品を初めてパソコンに接続して電源を入れた際(コールドプラグ)、キーボードエラーやマウスエラーが発生してWindowsが起動できず、本製品のインストールができないことがあります。また、Windowsが起動しても、本製品のインストール作業中に本製品が作動せず、作業できない場合があります。これらの症状を避けるため、本製品を初めて接続する際はWindows起動後に接続する(ホットプラグ)か、あるいはパソコン本体のPS/2マウスポートにPS/2マウスを接続してからパソコンの電源を入れてください。

なお、一度本製品のセットアップを正常に行った後は、同じUSBポートに接続している限り、このような作業を行う必要はありません。

3. 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が現われます。

WindowsXP・2000・Meの場合

- 4 必要なドライバは数分で、順次自動的にインストールされます。

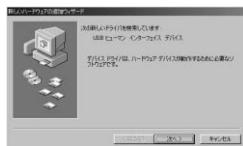
「新しいハードウェアの追加ウィザード」が画面から消えた後もしばらく(約1分程度)インストールは続いています。ハードディスクの動作が安定するまで、お待ちください。

- 5 以上でキーボードの接続は終了です。「デバイスマネージャ」でインストールが正常に行われているか、キーボードが正常に動作するかどうかを確認してください。

キーボードのセットアップ(つづき)

Windows98 SEの場合

- 4 以下の画面が現われますので「次へ」をクリックしてください。(画面1)
- 5 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」にチェックマークが付いていることを確認して「次へ」をクリックしてください。(画面2)
- 6 どの項目にもチェックマークが付いていないことを確認して、「次へ」をクリックしてください。(画面3)



(画面1)



(画面2)

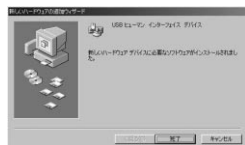


(画面3)

- 7 ドライバのインストールの準備ができると次の画面になるので「次へ」をクリックしてください。(注1)(画面4)
- 8 インストールが終わると次の画面になるので「完了」をクリックしてください。(画面5)



(画面4)



(画面5)

- 9 この後もう一度「新しいハードウェアの追加ウィザード」が現われますので同じ手順(4.~8)で「USBヒューマンインターフェイスデバイス(注2)」のインストールを行ってください。
- 10 以上でキーボードの接続は終了です。「デバイスマネージャ」でインストールが正常に行われているか、キーボードが正常に動作するかどうかを確認してください。

(注1)必要なドライバが見つからなかった場合

本製品はWindows標準のドライバ(Windowsのシステムに含まれているドライバ)を使用します。
画面3から画面4に移行するときに万ドライバが見つからなかった場合は、WindowsのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、CD-ROM内を検索してください。

(注2)「USBヒューマンインターフェイスデバイス」は繰り返し2度インストールされます。

キーボードのセットアップ(つづき)

Windows98の場合

- 4 以下の画面が現われますので「次へ」をクリックしてください。(画面1)
- 5 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」にチェックマークが付いていることを確認して「次へ」をクリックしてください。(画面2)
- 6 どの項目にもチェックマークが付いていないことを確認して、「次へ」をクリックしてください。(画面3)



(画面1)



(画面2)



(画面3)

- 7 ドライバのインストールの準備ができると次の画面になるので「次へ」をクリックしてください。(注1)(画面4)
- 8 インストールが終わると次の画面になるので「完了」をクリックしてください。(画面5)



(画面4)



(画面5)

- 9 「完了」をクリックすると「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が閉じ、すぐにまた「新しいハードウェアの追加ウィザード」が現われますので同じ手順(4.~8)で「USBヒューマンインターフェイスデバイス(注2)」のインストールを行ってください。
- 10 このインストールが終わると、もう一度「新しいハードウェアの追加ウィザード」が現われますので同じ手順(4.~8)で「USBヒューマンインターフェイスデバイス(注2)」のインストールを行ってください。
- 11 以上でキーボードの接続は終了です。「デバイスマネージャ」でインストールが正常に行われているか、キーボードが正常に動作するかどうかを確認してください。

(注1)必要なドライバが見つからなかった場合

本製品はWindows標準のドライバ(Windowsのシステムに含まれているドライバ)を使用します。画面3から画面4に移行するときに万ドライバが見つからなかった場合は、WindowsのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、CD-ROM内を検索してください。

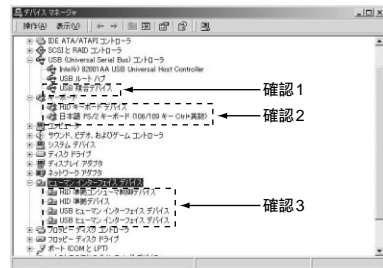
(注2)「USBヒューマンインターフェイスデバイス」は繰り返し2度インストールされます。

キーボードのセットアップ(つづき)

キーボードの接続(インストール)の確認

正常にインストールされると「システムのプロパティ」の「デバイスマネージャ」画面で以下のようにインストールされていることが確認できます。

WindowsXP・2000の場合



Windows2000の場合、キーボード入力すると英語配列の文字が入力されてしまうことがあります。これは、OSがキー配列を誤認識してしまうのが原因です。この場合「日本語PS/2キーボード(106/109キー-Ctrl+英数)」のプロパティで「ドライバの更新」を選択して再度「日本語PS/2キーボード(106/109キー-Ctrl+英数)」のドライバをインストールしてください。(「日本語PS/2キーボード(106/109キー-Ctrl+英数)」がデバイスマネージャに無い場合は、「表示(V)」から「非表示のデバイスの表示」を実行してください。)

WindowsMeの場合、キーボード入力すると英語配列の文字が入力されてしまうことがあります。これは、OSがキー配列を誤認識してしまうのが原因です。この場合「106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)」のプロパティで「ドライバの更新」を選択して再度「106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)」のドライバをインストールしてください。(ドライバが更新されない場合は、一度他(「101キーボード」等)のドライバに更新してから、再度「106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)」のドライバに更新してください。)

WindowsMeの場合、デバイスマネージャのアイコンに緑色の?マークが付くことがあります。本製品を使用する上では全く問題がありませんので、そのままご使用ください。

Windows Meの場合



Windows98SE・98の場合

